

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12239

常設展示室整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
中事業	常設展示室整備事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	常設展示の計画的な展示替えを行うとともにコーナー展示を行い多くの館蔵品を市民に公開する。		常設展示室の展示替えを適時行い、新しい資料を公開する。			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	年数回の展示替えを行う。	年数回の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、缶マグネットの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年20回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年20回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年20回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年20回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	6	6	129	129	250	250	10	0	10	0	
伸び率(%)	△89.1%	△88.2%	2,050%	2,050%	93.8%	93.8%	△96%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	1,242	621	3,270	1,635	2,043	2,043	1,650	0	1,650	0
	正規職員以外	1,610	897	250	500	512	512	512	0	512	0
	小計	2,852	1,518	3,520	2,135	2,555	2,555	2,162	0	2,162	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	6	6	129	129	250	250	10	0	10	0	
所要人数(人)	正規職員	0.16	0.08	0.42	0.21	0.26	0.26	0.21	0.00	0.21	0.00
	正規職員以外	0.48	0.24	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	0.10	0.00
主な予算内訳	手数料240千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	コーナー展示と常設展示の展示入替の回数	回	15	15	100%	18	24
			15	18	120%	24	133%
			100%	120%	133%	%	%
成果指標	常設展の入館者数	人	4000	4000	36.2%	4000	2942
			4000	2152	53.8%	3500	2942
			4000	2152	53.8%	3500	2942

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	常設展示室では、テーマを設定して定期的に資料を入れ替えるコーナー展示など、展示にメリハリをつけている。コーナー展示以外にも常設展示資料の入れ替えを積極的に行うとともに、各時代の説明文の多言語化を実施するなど入館者数の増加に努めている。また、缶マグネットの発行やぬり絵の配布で、より多くの市民に関心を持ってもらえるよう取り組んでいる。
見直し・改善内容	今後も常設展示室内の展示内容の更新を積極的に実施し、様々な方法でリピーターを獲得し、入館者数の増加につなげていく必要がある。